

第3章 みどりの課題

3-1 みどりが持つ機能

みどりが持つ機能は、大きく以下の4つに区分されます。

環境保全機能	レクリエーション機能	防災機能	景観形成機能
暮らしを支えるみどり	楽しみを創るみどり	安全・安心を提供するみどり	まちの魅力を演出するみどり
日々の暮らしに潤いと安らぎをもたらすとともに、多くの生命を育み、都市や地球環境を創る機能。	都市における暮らしに楽しみや生きがいを創り、スポーツレジャーや余暇活動の場を提供する機能。	災害時や緊急時の避難場所や被害拡大の防止など、まちなかの安全・安心を高める機能。	まちの個性を生かした美観や魅力を高め、まちの誇りを形成するとともに、来街者のおもてなしを充実させる機能。

3-2 みどりに関わる課題

“第2章 みどりの現況を踏まえ、みどりに関わる課題を整理します。

【環境保全機能】

課題1：市民・事業者・行政が一丸となって、市街化区域内のみどりを増やすことが必要

- 状 況**
- 本市の緑被率は26.8%（対市街化区域面積）となっています。
 - 緑地現況量では、緑地の面積割合は10.2%（対市街化区域面積）となっています。特に市街化調整区域は、山林が多くなっていますが、市街化区域ではその区域の特性から、みどりの面積は減少しています。
 - 花と緑の会をはじめとした、みどりづくりに携わっている市民により、まちなかでは市民の花壇やボランティアロード（花の道）等が整備され、みどりづくりの大きな力となっています。



- 課 題**
- 都市におけるCO₂の削減やヒートアイランド現象の緩和等の環境負荷の低減や日常生活における市民の安らぎをより充実させるため、市民等と協働して、市街化区域内のみどりを増やすことが必要となります。

課題2：トイレをはじめとした公園施設の老朽化・長寿命化への対応が必要

- 状況**
- ベンチや水飲み場、トイレ等の老朽化、遊具に錆が見られる公園があります。また、砂遊び場では、雑草が生え、砂場として使われていない公園も見られます。
 - 市民アンケートでは、公園を再整備するとした場合、「きれいで利用しやすいトイレの整備」が特に必要とされています。



トイレの老朽化



ベンチの老朽化



遊具の老朽化

- 課題**
- 安全で快適な公園とするため、公園施設の老朽化対策・長寿命化を図っていくための計画的な修繕・改善が必要となります。

課題3：1人あたりの都市公園面積の向上に向けた、その他の公園等の位置づけ、都市計画公園の見直しが必要

- 状況**
- 都市計画区域内人口1人あたりの都市公園の面積が、全国・県平均に比べてかなり低く、都市公園が少ない状況にあります。
 - 都市計画公園のうち長期間整備が未着手となっている公園にあっては、住宅地になっているなど整備が困難な箇所もあります。新たな公園整備を行うとしても、移転補償等の多大な費用が必要となり、市の財政に対して大きな負担となります。
 - 市民アンケートでは、今後のみどりの充実が必要とされることに、「各地区の身近な小公園・広場づくり」が上位となっています。また、公園への不満として「身近に公園がない（公園までが遠い）」が上位に挙げられています。

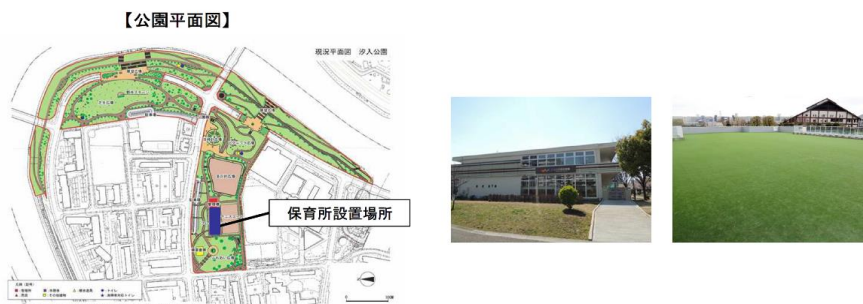


- 課題**
- 1人あたり都市公園面積を増やすため、その他の公園等の都市公園への編入、不足地域への公園の配置を検討する必要があります。

課題4：市民の公園利用率の向上が必要

- 状 況**
- 市民アンケートの結果では、市民の公園の利用率はかなり低い（74.8%が日常的に利用していない）状況にあります。
 - 市民アンケートの結果では、大規模な公園にあったら良い・便利だと思うサービス施設として、「授乳やおむつ交換、休憩などができる無料屋内スペース（33.3%）」、「レストランやファストフードなどの飲食店・カフェ（32.2%）」、「コンビニエンスストアなどの小売店（26.7%）」が上位となっています。
 - 市民アンケートの結果では、今後の公園利用を促進するために一定の条件を定めて認めても良いと思う行為について、「物販市（フリーマーケット、マルシェ、物産市など）の開催（60.8%）」が最も多く、次いで、「ワゴンやケータリングカーによる飲食物販売（34.0%）」、「バーベキュー（16.4%）」の順に多く挙がっています。
 - 都市公園法の改正により、都市公園内での保育所の設置や民間事業者による公共還元型の収益施設の設置管理制度が創設され、子育て機能の付加や収益施設等の設置が可能となりました。

〔参考：公園内に保育園を整備した事例（東京都立汐入公園）〕



出典：都市公園法改正のポイント(国土交通省都市局 公園緑地・景観課資料)より

- 課 題**
- 市民の公園利用率の向上を目指し、公園でできることの緩和の検討を行う必要があります。

課題5：公園等において、避難場所としての活用を視野に入れた、防災機能の充実が必要

- 状 況**
- 地域防災計画では、広場、公園及び学校運動場等を避難場所として指定、確保することとしています。また、公園及び広場は、地域住民のレクリエーション、スポーツ等の日常生活上重要な施設であるとともに、延焼防止あるいは避難場所として重要な役割を担う施設であり、計画的な整備に努めるとしています。さらに、防災機能を確保するため、一定規模以上の公園については、防災資機材等の備蓄等防災機能を備えた防災公園としての整備や、避難場所や避難路となる緑地の整備に努めるとしています。



写真：2016(平成 28)年熊本地震 避難所の開設・運営の事例(災害写真データベース：一般財団法人消防防災科学センター)

- 課 題**
- 地域の安全・安心活動の拠点や災害時の一時避難場所などとして活用できる公園・緑地の整備や充実が必要となります。

課題6：みどりの喪失を防ぐ山林の安全性の確保が必要

- 状 況**
- 市内各所に、土砂災害警戒区域や急傾斜の崩壊警戒区域、地すべり警戒区域等、災害リスクがある場所が分布しています。
 - 森林は、下層植生や落枝落葉が地表の浸食を抑制するとともに、森林の樹木が根を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防いでいます。

写真：2009(平成21)年7月中国・九州北部豪雨
土砂災害の現場の事例(災害写真データベース：一般財団法人消防防災科学センター)



- 課 題**
- 土砂災害の被害を最小限に抑える治山事業や適切な間伐等、適地適木・適正管理により、土砂災害防止機能（崩壊防止機能・災害緩衝機能等）の高い山林づくりに努める必要があります。

【景観形成機能】

課題7：市民花壇や庭木、街路樹等の質の高いみどりによる、良好な都市景観の形成が必要

- 状 況**
- 花と緑の会をはじめとした、みどりづくりに携わっている市民によって、まちなかでは花壇やボランティアロード（花の道）が整備され、美しい景観が作られています。しかし、高齢化により担い手不足が懸念されています。
 - 市民アンケートでは、実践している活動として、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る（49.1%）」、「家庭菜園をつくる（30.8%）」、「身近な公園・道路・河川などの除草作業活動を行う（27.5%）」が挙がっており、これから実践したい活動として、「家庭菜園をつくる（19.1%）」がトップとなっています。
 - 市民アンケートの街路樹に関する意向として、「街路樹などの道路の緑」への不満が高く、重点を置くべきみどりとして、上位となっています。



- 課 題**
- 行政と市民・事業者等が協働して、居心地が良く、質の高いみどり豊かな景観を創る必要があります。

【環境保全機能】【レクリエーション機能】【防災機能】【景観形成機能】

課題8：市民等のみどりに対する愛着を高めることが必要

- 状 況**
- 市民アンケートの結果、みどりのまちづくりで優先度が高いと思われることとして、「学校などで緑の大切さを学習する機会の拡充（27.9%）」が第3位となっています。
 - 良好なみどりを増やすには、行政だけでなく、市民等の活躍も重要となります。



- 課 題**
- 良好なみどりを増やし、居心地の良い都市環境を創るため、みどりを愛し、育てていく市民を増やすことが必要となります。